

第14回 桃太郎カップ水球 【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター

【2021/12/24】

女子1回戦

長崎選抜 11

3	—	3
2	—	2
1	—	1
2	—	2
3	PSO	4

12 岡山県選抜

審判： 中 哲朗
橋本 寛一

長崎選抜	25	SH数	24	岡山県選抜
	5	速攻数	7	
	6	ST・SB	4	
	8	SH・P誘発アシスト	7	
	43%	GK阻止率	50%	
3	EX反則数	1		

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

1P

ここ数回大会で未処理が続いている岡山が開始早々の4:43に⑤柁の6mSHで先制。その後は、長崎の⑤遊佐、⑧前田らを軸にしての攻撃で逆転するが、ピリオド終了前に再び⑤柁の6mSHで岡山が3-3に追いつき、接戦模様の展開に。

2P

開始早々に岡山が⑤柁がセンター位置で退水を誘発し、⑨松原が決めて岡山がこのピリオドも先手を奪った。その後、長崎が③松尾のセンター位置でのシュートで同点に追いつき、ゲームは拮抗状態で展開していき、双方その後に1点ずつを取り合って5-5の同点で前半を折り返した。前半では、お互いに攻撃後の守備への戻りが素早く、相手側の速攻を封じる展開が目立ち、ゲームが拮抗する形となった。

3P

勝負のかかった3Pは序盤からシュートを打ち合うも、GKセーブで一進一退。長崎が3:02に見事な速攻SHを⑤遊佐が決めて、長崎ペースになるかという展開だったが、岡山側もコーナースローから⑨松原がGKのスキを見逃さずにフリースローSHを決めて6-6に持ち込んで勝負は最終ピリオドへ。このピリオドでは岡山の速攻が数多く出るようになり、攻撃時の反則がなければゲームの主導権を握れるプレーが増えていった。その結果、長崎側のシュートチャンスがやや減って、試合のペースは岡山が握った形となっていた。

4P

そうした展開だったのを長崎がセンター⑧前田にボールを集めて2点をもぎ取り、残り1分の攻防が勝負となった形。岡山側はやや打ち急いだ長崎側のSHミスに乗じて、⑤柁からの好アシストパスを受けた⑨松原の中央ドライブSHが決まり、8-8の同点のままPSO決戦に持ち込まれた。

PSOでは岡山GK①末澤の好セーブもあり、12-11で岡山が久しぶりの勝利となった。

【プレー分析から】

お互いにシュート数、GKセーブなどもほとんど互角の戦いであった。ゲームの後半、岡山側が積極的なカウンター攻撃が増えていき、長崎側へのプレッシャーをかけたことが僅差の戦いにつながった形。